

令和4年度事業報告

当シルバー人材センターは、長い人生の中で培った豊富な知識や経験及びその能力を活かして地域社会のために役立ちたいというシルバー会員の意思を尊重し、基本理念「自主・自立・共働・共助」を念頭において就業を通じて健康促進と生きがいの充実を図っていただくために、シルバー会員の拡大と新規事業の開拓に努めてまいりました。

令和4年度は新型コロナウイルス感染予防対策による影響はほとんどありませんでしたが、除草作業は繁忙期に雨天が多かったこともあり、受注件数が前年度より28件減少しました。

派遣事業では、各種価格の高騰による影響でスーパー及び事業所への派遣が3件減となり、前年度を下回る結果となりました。

前年度に対して受注件数は減少となりましたが、コロナ禍での就業確保に対しまして、町当局ならびに事業所、一般家庭の発注者皆様のご理解とご支援の賜物であると深く感謝いたします。

またコロナ禍における役職員向けの会議・研修会はインターネットのビデオ会議システムZoomでの参加となり、会員向けの各種講習会は公共施設の利用人数制限等もあり中止又は自粛いたしました。

会員の安全就業については、事故0を目指して安全就業対策の強化に取り組みましたが、傷害事故2件、賠償責任事故0件、車両運転による事故2件が発生しました。

今後も事故0を目指すとともに、新型コロナウイルス感染予防に努め、法令を遵守し地域の皆様から信頼されるシルバー人材センターとなるよう一層努力してまいります。

以下、令和4年度の事業実績についてご報告いたします。

1. 就業の機会を確保し、及び組織的に提供する事業

令和5年3月31日現在の会員数167名(前年度171名、4名減)

シルバー人材センター事業の推進を図り、事業所、一般家庭、公共等から、就業件数840件(前年度868件、28件減)、就業延人員22,055人日(前年度21,538人日、517人日増)、就業率95.8%(前年度93.6%、2.2%増)、配分金総額68,204,877円(前年度66,598,421円、1,606,456円増)のお仕事をいただきましたが、コロナ禍で就業が厳し

い中、最低賃金を考慮して配分金単価が増額改定された分、前年度を上回る結果となりました。

平成29年度から実施している網戸・障子の張替え作業は9件(前年度29件、20件減)、平成25年度から実施しているワンコインサービスは20件(前年度7件、13件増)のお仕事をいただきました。

7月と12月に習字教室を延4日間開催し、24名の児童が受講し好評を得ました。

2. 就業機会を確保するために行う大治町の公の施設の指定管理業務

大治町から総合福祉センター「希望の家」2階高齢者生きがい活動センターの指定管理を受託して施設を活用し、会員の利便や就業機会の増加を図りました。

愛知県の新型コロナウイルス感染予防対策に取り組み、休館することなく施設運営をいたしました。

3. 職業紹介事業

求人・求職ともに0件。(前年度求人2件で6名の求人に対して求職6名の実績)

4. 労働者派遣事業

愛知県シルバー人材センター連合会との連携のもと、派遣希望会員をスーパー及び事業所へ派遣し、派遣件数17件(前年度23件、6件減)、延派遣人員1,329人日(前年度1,578人日、249人日減)、契約金額3,571,204円(前年度5,267,132円、1,695,928円減)の実績。年度の途中で各種価格高騰の影響を受け派遣打切りが3件あったことから、前年度を下回る結果となりました。

5. 就業に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習を行う事業

就業の機会につなげていくことを目的に、経験のある会員を講師として手芸やろまい会の1日体験教室を(年1回、参加者延7名)を開催しました。

海部地区シルバー人材センター会員合同研修会の参加を予定していましたが、新型コロナウイルス感染予防対策により中止となりました。

6. 就業に関する調査研究及び相談を行う事業

仮会員向け就業希望アンケートを実施したところ、1名の就業が決定し正会員へ切り替えました。

入会説明会(年22回、39名参加)の開催により、16名の入会がありました。また、入会希望者との相談の場の開設、会員に対する就業相談を随時実施しました。

7. 安全かつ適正な就業を推進するために事故防止の啓発等を行う事業

安全意識の共有のため、安全・適正就業委員会(年5回)の開催、安全・適正就業委員による安全・適正就業パトロール(年2回、剪定2ヶ所、除草2ヶ所、カート整理1カ所の就業現場の巡回)を実施。また安全標語(応募52件)の募集により、安全・適正就業の啓発を図りました。

令和4年度安全標語最優秀賞 『慣れた作業 初心に返り 安全確保』

8. センターの活動等について周知を図る事業

機関紙「センターnews」(年5回)の発行、会員紹介運動(年1回)の実施、会員募集チラシ(年4回)の回覧、ホームページ及び町広報紙の随時活用により周知を図りました。

9. その他センターの目的を達成するために必要な事業

10月の全国シルバー人材センター事業協会が掲げる普及啓発強調月間に合わせて清掃ボランティア活動(36名が参加)及び女性限定サロン「ぷらっといこまい」(19名が参加)を実施しました。

会員交流会、女性委員会による料理講習会、生活支援講習会は新型コロナウイルス感染予防のため自粛いたしました。

毎年11月開催のふれあいフェスティバル時での事業PR活動は新型コロナウイルス感染予防対策によりフェスティバル自体が中止となりました。

認知症予防の練習会を1月に実施しました。

手芸やろまい会を感染症対策をして毎月実施しました。

生活支援体制整備推進協議会に(年9回)参加し、他の福祉団体と連携を図りました。